

在学生在紹介する私の学び

QUESTIONS

- Q1. 学業について
- Q2. 東京家政大学の推し



東京家政大学

仲間と創り上げる学びと遊びに

全力の学生生活



家政学部

児童学科 児童学専攻4年 K.M.

A1. 私はクラスの仲間とともに学生生活の中でいかに楽しく充実した日々を過ごせるか、という部分に全力を尽くしました。空きコマでは少しの時間でも遊びに出かけ、近くの商店街を散策し、いいお店があったらクラスの仲間と共有しました。参加型の授業では自分たちの想像力を働かせ、ユニークな作品を作り上げたり、本気で演技したりと楽しく学びを深めました。授業や課題、実習で忙しいことも多くありましたが、その度にクラス全体で支え合い、情報共有をして乗り越えてきました。そんな戦友とも言える大切な仲間と忙しいながらも全力で大学生を謳歌している毎日が本当に幸せです。

A2. 個性豊かな授業です。特に笹井先生の授業で作曲をして発表したことを今でも鮮明に覚えています。2年生の時に作ったその歌はブームとなり、今でもことある事に歌われています。このように自分たちで考えて作り上げるような授業が多くあるため、チームで動く力やユーモアセンスが磨ける部分が魅力だと考えました。



クライアントのより良い生活を考え向き合う

人間生活学総合研究科

臨床心理学専攻 修士課程2年 H.Y.

A1. 大学院では、自主性を大事にしています。臨床心理学専攻は1年生の時のみ授業があるのですが、ほとんどが、各自で調べたことを元に授業内で発表したり、ロールプレイを通してどのようにカウンセリングを行っていけば良いか話合ったりと自分たちで考え行動していました。1年生の後半から臨床相談センターにて実際のケースを受け持つことになり、どうすればクライアントがより良い生活を送れるのか、相談員の先生や教授と相談しながら考えていきます。様々な環境、悩みをもつクライアントに対しどのように向き合っていくのかを考えることができる貴重な環境だと感じています。

A2. 私の好きな場所は15号館のテラスです。春先などは風も心地よく鳥の声も聞こえてきてとても落ち着ける場所です。気分転換がてらテラスで友達とお茶をしたり勉強をしたりすると普段と違う雰囲気でもできて院試勉強の際にも活用していました。またマスコットキャラクターのりょくくんも好きでステッカーなどはつい買ってしまいます。



人と地域をつなぎ、支え合う学びを探究



人間生活学総合研究科

教育福祉学専攻 修士課程2年 Y.S.

A1. 現在「高齢者はなぜ喫茶店に通い続けるのか」をテーマに、喫茶店を利用する65歳以上の方にインタビュー協力をしていただき、結果を分析しています。高齢者が長い間利用してきた喫茶店を、介護予防の視点から「地域の資源」として、もっと活用できないかと考えています。昨年度まで教育福祉学専攻には私1名だったのですが、今年度は後輩が入学し、2名となりました！2人で一緒に授業を受けることもあり、授業で扱うテーマや論文について議論したり、お互いの研究内容について話したりすることができ、とても楽しいです。

A2. 図書館の個室の自習スペースが好きです。個室で集中してパソコン作業や課題ができます。授業前、少し早めに大学に到着し、その日の授業の準備のために使用することも多いです。集中が切れてきたらフロアを歩き、興味のある本を立ち読みして気分転換しています。

人間生活学総合研究科

健康栄養学専攻 修士課程2年 E.A.

A1. 職務経験を積む中で研究の経験値が少なく、業務の幅を広げるために入学を決めました。大学の時は、管理栄養士を取得することが第一の目標であり、必要な科目を素直に履修し、学んでいました。修士課程は、自ら学びたい内容を考え、シラバスを見て選ぶことで独自の科目設定ができます。そのため、横断的な学びから多岐にわたる研究方法を学ぶことができます。先生方も仕事との両立にご理解くださり、スケジュールなど柔軟に対応くださり無理なく学ぶことができます。長期履修の3年間で、年代を問わず研究について語りあえる仲間ができました。

A2. カフェLuceでクラムチャウダーを飲みながら、パンをいただくお昼の時間は、格別です。仕事を終えて授業に向かう時は、授業に集中して取り込む為に気持ちのリセットをする場所です。また、図書館は、読みたい本、調べたいことが見つかる安心感があります。自分のペースで学習できる場として大学生の時から大好きです。

出会いが導いた学びと成長

すべてが財産になった日々



人間生活学総合研究科

児童学児童教育学専攻 修士課程2年 T.A.

A1. 多くの出会いがあった学生生活でした。私は劇あそびについて研究しましたが、先人たちの知恵によって考えが深まり、足場が固まっていくのを感じていました。同じ志を持つ院生と語り合い、もの見方が変わりました。ずっと大切にしたい、かけがえのない友を得ました。先生方の講義から保育の素晴らしさを再認識し、励ましのお言葉に何度も支えられました。上質な表現に触れ、自らを磨く機会をいただきました。学生さんのひたむきな姿から、抱えきれないほどのパワーをもらいました。大学院はどんなところ？と聞かれたら、「出会いのすべてが財産となる場所」だと答えます。

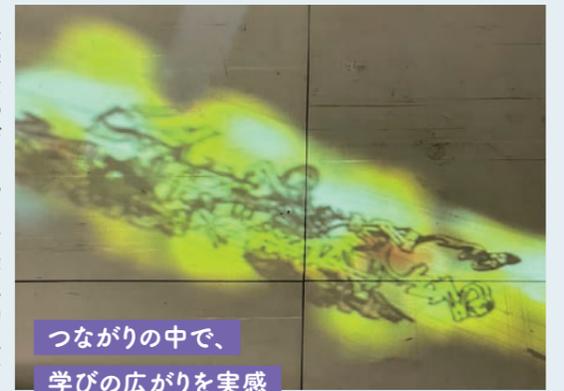
A2. 120周年記念館1階に、お昼時だけ出張してくださるパン屋「フレーバー」さん！おすすめはカレーパンとチーズコーンです。あたたかい店員さんと美味しいパンに、いつも元気をもたらしていました。たくさん労いの言葉をかけていただきました。3年間本当にお世話になりました。ありがとうございました！

人間生活学総合研究科

造形学専攻 修士課程2年 Y.A.

A1. 私は、子育てをしながら大学院で研究に取り組んでいます。研究では、物語を言葉から視覚的・空間的な表現へと置き換える作品を制作し、「言葉を読み取る」という行為を問い直しています。授業でも、子どもの作品に込められた思いを読み取るなど、研究とつながる学びを得ています。子育てとの両立は大変ですが、大学院の制度や先生方の理解に助けられ、自分のペースで学びを進めることができている。今後も、研究と子育てを支えにしながら、自分らしい表現の追究を続けていきたいです。

A2. 7号館前に広がる森のようなエリアです。アートキャンプをはじめ、さまざまなイベントが行われ、学生の表現と地域とのつながりが育まれます。附属幼稚園の子どもたちとも自然に関わりが生まれ、温かな学びが循環するこの場所を推しています。



つながりの中で、学びの広がりを実感

仕事と学びの中で、研究の楽しさを再発見



人間生活学総合研究科

英語・英語教育研究専攻 修士課程2年 S.M.

A1. 1年半前の入学式は、休職して新たな一歩を踏み出した感慨深い日でした。現在は、英語教師の小中連携に関する信念をテーマとした修士論文を執筆中です。収集したデータを分析する過程はトライアンドエラーの連続ですが、少しずつ視界がクリアになってくるようで面白いです。第二言語習得論などの理論や授業で触れた多様な実践と自身の経験を往復させることで、教師としての視野も広がりました。貴重な2年間でやり切るつもりで入学しましたが、今は修了後も学び続けたい気持ちが強くなっています。現場に戻り、学びを実践に活かしていくのが楽しみです。

A2. やっぱ院生室の窓から見える景色が一番好きです。キャンパスはいつも綺麗に手入れされていて、季節ごとに表情を変える景色に心が和みます。今年は授業等がオンライン中心となりキャンパスに行く機会は減ってしまいましたが、たまに院生室を訪れるとホッとひと息つけます。静かな環境で研究に集中できる、ありがたい場所です。



穏やかな環境で、探究の力を育む



家政学部

服飾美術学科4年 K.M.

A1. 自分探しをするきっかけになればと考え、学科の専門教育科目の履修によって得られる教員免許(中高家庭科)、1級衣料管理士、学芸員など3つの資格取得に向けて日々励んできました。資格取得に向けての過程は決して容易ではなく様々な困難に直面しましたが、多くの学びを得ながら自己の成長につながっていることを実感し、忙しい中にも非常に価値のある経験になりました。特に自分と向き合うことの大切さを学び、就職活動の際に大きな強みとなりました。大学での経験を活かし、これからも様々なことに挑戦していきたいと思っています。

A2. 服美の推しは、ニードルアート、ニットの授業です。服づくりも楽しいのですが、手芸の授業では刺繍やニットのかわいらしい小物を製作できるのが推しポイントです!自分でデザインを考え、イメージしながら材料を買いに行くのも楽しいです。一度技法を習得すると、日常生活の様々な場面で活用できます。

学びと創作で、自分の可能性をかたちに



光あふれる空間で育った、表現する力

家政学部

造形表現学科4年 O.M.

A1. 入学当初からグラフィックデザインに強い関心を持ち、授業でも特に力を入れて学んできました。初めは知識や技術不足により思い通りに制作できず、とても苦戦したことが強く印象に残っています。しかしそこで諦めることなく、試行錯誤を繰り返したり、他の学生の作品を見て刺激を受けたりして、少しずつ自分の表現ができるようになり、成長を実感しながら制作に打ち込みました。幅広い授業を通してWebデザインにも興味を持つようになり、現在はグラフィックデザインを主体に、一部Webデザインを取り入れた卒業制作に取り組んでいます。

A2. 85周年記念館のラウンジです。グラフィックデザイン実習室もお気に入りの場所ですが、ラウンジには友達と過ごした楽しい時間や課題に悩んだ思い出がたくさんあります。広くて開放的で、自然光がたくさん入る居心地の良い空間なので、空きコマの時間はいつもここで過ごしていました。

留学と教職を両立し、仲間と共に成長した4年間



家政学部

環境教育学科4年 Y.S.

A1. 私の家政大での学生生活は「挑戦」の4年間でした。力を入れたことは、学科での実験や卒業研究、資格取得、教職課程での介護等体験や教育実習、英会話や海外研修など多岐に亘ります。当然、不安はつきものでした。しかし、学科の先生方、教職課程の先生方、グローバル教育センターの先生方がサポートをしてくださいました。また、その中で多くの仲間と出会い、支え合ってきました。大学4年間は自分次第です。月並みの言葉ですが、振り返ってみると「失敗を恐れず挑戦する」これに注力した学生生活だったように思います。

A2. ルーチェです。推しポイントは、①大好きなカプチーノが飲める②友人と話しながら勉強ができる③十条門から近い、この3つです。皆さんもぜひ、出来立てのドリンクをお供に勉強してみてください!いつも以上に頑張れますよ!また、十条門からも近いので、利便性も高く、隙間時間を過ごすにもぴったりです。

仲間と挑戦を重ね成長した充実の学生生活



人文学部

英語コミュニケーション学科4年 S.H.

A1. 東京家政大学での4年間は、ニュージーランドへの留学と教職課程の両立に全力を注ぎました。留学前には先生方が面談で不安を丁寧に聞いてくださり、現地で安心して学べるよう細やかにサポートしてくださいました。帰国後は教育実習や授業準備、課題に追われる忙しい毎日でしたが、同じ目標を持つ仲間と支え合いながら乗り越えることができました。困ったときにすぐ相談できる先生方や、温かく迎えてくれる環境が常にそばにあり、自分の成長を実感できたことが何よりの財産です。挑戦するたびに人の優しさを感じられる大学生活でした。

A2. 食堂前の広場とグローバル教育センターです!広場は空が広く見え、夕焼けがとても綺麗な癒スポットです。疲れた日も空を見上げると幸せになれます。また、グローバル教育センターは英語教材が豊富で、先生方にも気軽に相談できる温かい場所。勉強もリフレッシュもできる、私のお気に入りの空間です!

家政学部

児童教育学科4年 I.H.

A1. 私は、大学の講義とアルバイト、ボランティアを両立しながら、毎日目が覚めなくても充実した大学生活を過ごしてきました。忙しい中でも全てに手を抜かず頑張れたのは、小学校教師という夢と、一生の友人に出会えたからです。夢の実現に向けて特に力を入れたのは模擬授業です。より分かりやすい授業になるよう仲間と意見を出し合い、改善を重ねたことで、教育実習でも子どもと共に学びをつくる喜びを味わうことができました。私にとってこの4年間は、学びと人とのつながりに恵まれた何にも代えられない宝物です。

A2. あたたかくて居心地の良い環境です。学科の仲間はもちろん、先生方とも距離が近く、困った時には親身になって話を聞いてくれます。入学前に想像していた少し孤独な大学生活とは違い、同じ夢に向かって励まし合える仲間がいるこの環境が大好きです。さらに、緑豊かで落ち着ける所もお気に入りです。



夢に向かい挑んだ模擬授業 仲間と先生がくれた力

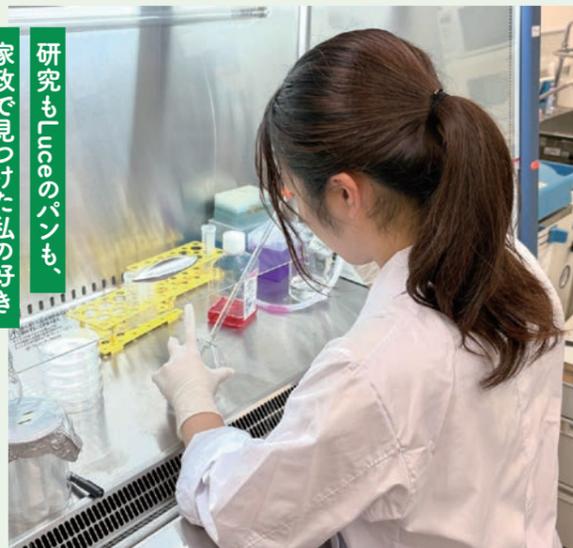
栄養学部

管理栄養学科4年 S.A.

A1. 卒業研究に力を注ぎました。3年次から研究室に所属し、肥満に関わる遺伝子の研究に取り組んでいます。昨年5月には、名古屋で開催された学会で口頭発表に挑戦し、緊張しつつも先生方との議論を通じて多くの学びを得ることができました。研究室は雰囲気も良く、緑苑祭では有志でレモネードを販売しました。エプロンやポスターも手作りし、研究とはひと味違う学生らしい思い出も残せました。来年度からは本学大学院へ進学します。まだまだ未熟ですが、いつか私の研究が誰かの健康に繋がる事を願い、努力を続けていきます。

A2. Luceで販売しているパンです。種類が豊富で、どれも200円前後とお手頃価格、そして何よりサクサクふわふわで美味しいところが推しポイントです。試験勉強の合間にはLuceのパンで糖分をチャージし、勉強に励んでいました。特に気に入りはメロンパンです!皆さんもぜひ食べてみてください!

研究もLuceのパンも、家政で見つけた私の好き



仲間と支え合いながら、実践力と成長を重ねる学び



家政学部

児童学科 育児支援専攻4年 U.A.

A1. 私は社会で活躍するための実践力を身につけることに力を入れてきました。特に2年生の後期から始まる実習では適切な目標を設定し、計画的に準備を進め、実践力を身につけることができたと思います。全ての実習でスケッチブックシアターやホワイトボードシアターを準備し、好きなことを活かして子どもたちと楽しむ時間を作りました。将来は、子どもに関わる仕事に就きたいと思っています。子どもがたくさん遊びに会い、遊びを通して様々な経験ができるよう援助をしていきたいと思っています。

A2. 「クラス」です。私が所属する学科は、クラス単位での授業が多いため、4年間を通して授業内でのクラスの友達との思い出がたくさんあります。クラスの友達と支え合い、共に勉学に励んだことで大変なことも乗り越えることができました。私にとってクラスは大切な居場所です。



食と学びで、満たされる心と体

栄養学部

栄養学科4年 Y.Y.

A1. 私は高校生の頃から食が大好きで、美味しく健康的な食事作りや調理過程における食品の化学変化に関心を持ち、本学の栄養学部に進学しました。授業では学んできた栄養学や食品学を献立作成に活かし、サークル活動やhulipでのレシピ考案に力を入れてきました。将来は健康的な食事を作る栄養士の力になれるような食品作りに貢献したく、より食品の勉強がしたいと思い、大学院への進学を決意しました。機器分析等を通してさらに食品の魅力を引き出せるように今後も切磋琢磨していこうと思います。

A2. 私はキャンパス内にある学生食堂Luceが推しです。忙しい学生生活の中で友達と楽しくお昼を食べることができる場所で、思い出に強く残っています。お昼以外は落ち着いた雰囲気だったので自習勉強にも利用させていただき、学内のまったりスポットでした。週替わりのランチも楽しみの1つです!

健康科学部

リハビリテーション学科 作業療法学専攻4年 F.H.

A1. 私は1.2年次に緑苑祭実行委員を経験しました。他学年のみならず、他学科とも協力し、同じ目標に向かって活動していくことで、普通の学生生活では経験できないような団結力や達成感を実感することができました。また、学外の方も多く関わるため将来社会に出る練習の機会にもなりました。メールの書き方や言葉遣い、自分の意見を言うことなど実習や就職活動に活かせることも多くありました。緑苑祭実行委員会で一緒だった先輩や後輩、同級生と親密な関係になれた緑苑祭実行委員会は学生生活の一番の思い出です。

A2. 狭山キャンパスは自然が豊かなところが魅力の1つだと思います。時々キャンパス内でネコに会うことができるため勉強で疲れた時の癒しになっています。また、季節ごとにさまざまなお花が咲き、講義室やゼミ室からも見ることができます。そのため室内にいても自然を感じられるところが好きな部分です。



協力し合う喜びと、
自然のぬくもりに満ちた日々



学びと成長を重ねる日々
幼児教諭の夢に向かい、

子ども支援学部

子ども支援学科4年 I.Y.

A1. リトミック免許の取得に力を注ぎました。リトミック免許の対策授業では試験で行う様々な内容を学んで身につけることができます。特に即興の項目ではピアノを使ってテーマをその場で表現することが求められるので音のイメージを表現する楽しさを感じました。リトミックの試験を通して音楽の基礎理解や音感が高まったと思います。リトミックは楽しみながら音楽の基礎を自然と学んでいけるところが魅力だと授業を通して学んだので、将来幼稚園教諭として子どもたちと一緒に楽しんでリトミックに取り組んでいきたいです。

A2. ピアノ室です。各部屋に一台ピアノがあり、広い部屋にはピアノが二台あるので友達と一緒に練習することもできます。授業では子どもの音楽Ⅲ・Ⅳで使うことが多いです。空いた時間に友達とピアノ室にこもって集中して練習をして、アドバイスをもらって弾き歌いの試験を乗り越えたので思い出深い場所です。

健康科学部

リハビリテーション学科 理学療法学専攻4年 H.M.

A1. 大学2年次に、後援会のドリームプラン奨学金を利用し、腰への負担の少ない抱っこ紐を開発しました。きっかけは叔母が子どもを抱っこし終えた際に腰をさする仕草を目にしたことにあります。実際に使用して確かめることから始まり、使用者へのインタビューなどを実施しました。機能だけでなく素材なども意識しながら実際に作成して抱っこ紐を完成させ、使用した方から腰が楽になったと言ってもらえました。この経験から身近な事柄に興味を持ち行動すること、メンバーと協力しながら最後までやり遂げることの大切さを学びました。

A2. 学科の魅力は、海外スタディーツアーです。カンボジアでは現地の病院だけでなく、大学や小学校、孤児院などたくさんの施設を視察してきました。リハビリテーションができる環境があること自体難しいなど日本から見た世界、世界から見た日本を感じることができ、自分たちに何ができるのか考える貴重な機会となりました。



人を想う気づきが、
学びを世界へ広げていく

人文学部

教育福祉学科4年 E.S.

A1. ゼミ活動やサークル活動に力を入れて学生生活を過ごしていました。3年次でのゼミ活動は、子ども食堂の立ち上げなど座学や普段の授業では経験できないことにも携わることができ、数多くのことを実践的に学ぶことができて非常に貴重な活動でした。1~3年次で加入していたサークル活動では、東京家政大学の他学部の学生だけではなく、他大学との交流もあり、さまざまな学生と協力しながら活動することができました。他にも、ボランティア活動や留学など、自分が興味を持ったことに積極的に取り組むことができた学生生活だったと思います。

A2. キャンパスの自然の豊かさです。東京家政大学のキャンパスは緑が多く敷地も広いので、のびのびとできる環境だと思います。また、季節ごとの桜や紅葉などの風景もキャンパス内で楽しむことができます。写真の場所は、授業で使用する他に、附属幼稚園の子どもたちが遊んでいることもあり、その姿にも癒されています。



多彩な活動と自然に支えられた、
充実のキャンパスライフ

健康科学部

看護学科4年 G.K.

A1. 私は看護の勉強、実習に力を入れて大学生活を送ってきました。実習では、患者さんの不安を傾聴し、安心感をもたらす声掛けや強みを活かしたケアを実践できるように尽力してきました。実践する看護について悩むこともありましたが、同じ実習グループの学生や先生方に助言を頂き、乗り越えることができました。看護師を目指す学生同士、切磋琢磨しながら看護を学ぶことは私にとって、良い経験になっています。将来は、手術室で患者さんをサポートする看護師を目指しており、常に看護の知識、技術を学び続けていきたいと思っています。

A2. 学食です。気軽に立ち寄ることができ、広々としているためゆっくり食事をとることができます。また、日替わりのランチだけでなく、デザートや軽食などのメニューもあります。授業後に友達とおしゃべりしながら、美味しいご飯を食べることができるので好きです。



心が学び、人とつながる
かけがえのない日々

人文学部

心理カウンセリング学科4年 K.R.

A1. 心理専門職として働くことを目指し、授業やボランティアに力を尽くす大学生活を送ってきました。座学はもちろん、実習やロールプレイなど、実践的に学ぶ授業にも力を入れて取り組んでいます。現在は現場での実習をさせていただいており、心理士に求められる役割や専門性、かかわりの持ち方などを体験的に学んでいます。学びを深める中で、知識を実際の現場で活かしたいという思いが強まり、不登校支援のボランティアにも参加しはじめました。励まし合える友人にも恵まれ、学びと人とのつながりに支えられて充実した4年間でした。

A2. 14号館のラウンジが私のお気に入りの場所です。1年生のころから、空きコマや授業のない日にはここに来て、友人と一緒に勉強してきました。疲れたときには、おやつを食べながらおしゃべりしたり、夕焼けを眺めたりして、リラクゼーションの時間を過ごしています。そんな何気ないひとときが、私にとっては宝物です。



支え合う仲間とともに、
看護の心を育てる

食と健康を多角的に学び、
知識を実践へとつなげる



短期大学部

栄養科2年 O.I.

A1. 入学当初から調理学・食品学・栄養学・生化学等の分野から食と健康について学び、充実した日々を過ごしてきました。特に「和・洋・中」の料理の違いや特色に興味を持ち、調理実習では使用する食材や調理方法の違いなどに着目し食材本来の効果を利用する調理において多くの学びを得ることができました。学んでいる過程で食品衛生に関する知識が不足していると食中毒や感染症などを予防することや安全・安心に食べることが出来ません。そのため栄養の知識だけではなく、食品衛生の知識も身につけられるよう力を入れて取り組んできました。

A2. 図書館の和室コーナーです！集中して勉強したい際などによく利用します。推しのポイントは「畳」です。学内は椅子が基本ですが、この和室コーナーでは座布団に座り過ごすことができます。落ち着いた気持ちでリラックスしながら課題に取り組んだり、本を読んだりできる場所がお気に入りの理由です。

仲間とともに成長を
実習や学びの中で
保育者をめざし、



東京家政大学短期大学部

短期大学部

保育科2年 K.S.

A1. 私は家政大学で、将来保育者になるという中学生の頃からの夢を叶えることを目標に、授業や実習に力を入れてきました。授業では、実践に活かせる知識を少しでも増やすためにメモを多くとって覚える、実習では、子どもの関わりの実践と保育者の方へ質問する機会を通して自分の技術を磨くという形で努力を重ねてきました。特に実習は大変な部分も多くありましたが、実習前最後の日には、毎回クラスで「頑張ろうね!」と言い合って乗り越えていました。クラスの仲が良く、みんなのおかげで大変な中でも楽しく学生生活を送ることができました!

A2. 「学生食堂」です。授業の空きコマに友人と学食に行って過ごしています。学食のメニューはどれも美味しく、毎回何を食べるか迷い、決めるまでに時間がかかることばかりですが、友人と「これも美味しいぞうね!」と言いながら悩むことも楽しんでいます。学食で友達と話している時間はあっという間です!